



大阪府連通信号
2018年12月号

日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: info@
jcfaosaka.org
http://
jcfaosaka.org/

中国残留邦人等への理解を深める集い

水餃子に舌鼓 元気に広場ダンス

中国残留邦人等への理解を深める集いは、11月15日、60人余りが参加して開かれ、大阪府連から8名が参加しました。はじめに辻本理事長が6名の支援相談員と、帰国者センターを運営しています。現在帰国者280名のお世話をしているが、73才から99才までの70%の184名は要介護で、高齢化が進んでいる現状を紹介されました。「帰国者と市民の会」の依田弁護士が、中国残留邦人等への支援策が成立するまでの経緯を講演されました。



久保英子さん

中国残留邦人の久保英子さんは15歳で兄を頼って満州へ、終戦時は山の中をさまよいつながら逃げまどい、現地で中国人と結婚、1958年最終帰国の時には、中国への恩を感じ夫の元に残りました。15歳で渡満したので日本語はすっかり覚えており、文革ではひどい目にあったが、文革以後は日本語を教えてほしいと言われ7、8年教えていたこともお話しされました。

国交回復後1988年に帰国したが困難を伴ったことなど、92才とは感じさせない記憶力で話されました。続いて食文化交流会では本場のおいしい水餃子などに舌鼓を打ちました。一口スピーチでは帰国者一世・二世の言葉や習慣の違いを埋めようと頑張る介護関係者たちが挨拶し、恒例の広場ダンスには毎回のことながら、そのパワーに圧倒されました。つどいは会の運営がスムーズで、とても有意義で楽しいひと時を過ごしました。

「日清戦争ってどんな戦争だったのか」

西支部学習会 微用工問題の視点も解明

11月18日、初めての外部講師・飯田光徳コリア協会大阪理事長 満州・中国を切り従えるべき」を招き、西支部学習会「日清戦争ってどんな戦争だったのか」を10名参加で行いました。講演では「古代の渡来人から中世の倭寇、近世の朝鮮出兵、江戸時代の朝鮮通信使の大きな流れを説明。江戸時代の二百数十年間は北東アジアの平和な時代であったが、明治以後1945年まで戦争が続いた。日清戦争のきっかけは1882年の日本公使館襲撃、84年の甲申事変、朝鮮への進出を図る日本と介入を強める清国。94年の東学農民戦争を機に日本軍8000人が居座り、日清戦争のスタートになった。元々の発想は吉田松陰の『国



力を充実させ、取りやすい朝鮮・中国を切り従えるべき」藤などがそれを実行した。清国に勝って莫大な賠償金と台湾を奪得、遼東半島は三国干渉で返還したが、日清戦争から敗戦まで50年間戦争が続いた。

微用工問題の視点としては、謝罪・お詫び・反省・責任が明確でなく、個人の請求権は消滅していかないことは日韓の政府や最高裁も言明。植民地支配の被害者がないがしろにされる怒りで、求められたことへの怒りで、求められるのは冷静な対応と英知を結集した交渉が必要だ」と解明されました。

南京の記憶をつなぐ映画祭

を繰り返さな

12月2日、南京の記憶をつなぐ映画祭が行われ、3部構成で映画上映され600名が鑑賞しました。この映画祭は、過去の歴史を正面から見据え、同じ過ち



「南京大虐殺」の事実を明らかにしていくために開催されました。2014年から市民団体や個人が参加する

第6回中国百科検定

試験日は 3月21日(祝) 15時から
申し込み締め切りは 2/21(木)
受験コースは初級、3級(ものしりコース)
2級(中国通コース) 1級(百科老師コース)
特級(マスターコース地理、政治経済、歴史、文化芸術・風俗習慣の4分野から選びます)
出題範囲は中国百科検定公式テキスト

カレンダー好評販売中



1200円 ご注文は府連事務所へ

実行委員会形式で、「証言者」張秀紅「南京引キュメンタリー映像のき裂かれた記憶」4本の南京大虐殺のドキュメンタリー映像を上映しました。今回は南京の記憶をつなぐ「アイリスチャン」唱朗読構成の鎮魂歌として演奏しました。

空海の初上陸地「赤岸鎮」へ 福建省赤岸鎮 空海祈念堂訪問記 ⑥

「空海ロード 日中が交流」の見出しが飛び込んできた。日中塚が取り組もうとしていることがこの言葉に集約される。そして、訪問した空海祈念堂の石碑に名前があった静慈圓氏が登場する。朝日新聞夕刊の「高野山異聞」連載(4)である。



空海祈念堂の遺唐使船模型正門

『空海ロード』

中国を訪ねる旅

「静さんは、日本密教が専門の高野山大学の名誉教授でもある。空海を乗せた遣唐使船の船は、現在福建省霞浦に漂着した。1984年、「空海・長安への道」訪中団がたどった霞浦―西安の約2400キロを踏破した。同じ年、本の真言宗の各本山が協力して龍寺の跡地に「惠果空海記念堂」を建てた。以来、静さんの訪中は120回を超す。仏教や空海の研究者、各地の僧侶らと交流し、『空海ロード』と名づけたこの道を日中の信者と巡る旅を重ねてきた。「空海を通じて日中の交流が積み重ねられていったことを述べている。」

は逆の流れが生まれている。「と指摘。なぜなら、「空海の帰国からまもなく、唐では仏教弾圧が起きた。禅や浄土系の仏教は後に復興したが、唐代の密教(唐密)はずっと途絶えたまま」「中国では近年、物質的な豊かさから心の豊かさを求め、仏教への関心が高まっているという」「中国人にとつて唐の時代は特別。何とか唐密を復興させたいのです」「空海ロード」で、長く日中の歴史交流が行われていたのである。この空海が日中平和友好条約締結40周年を迎えた今年、話題に上っている。(塚支部 浅田勝美)

空海 日中の歴史交流の原点
そして「空海の入唐求法から1200年余り。日中の中で当時と

太極拳新春 初けいこ

1/12 (土) 9:30~12:00
国労会館 環状線天満駅から3分
大阪府連主催 参加費1000円
1/14 (祝) 9:30~16:00
守口市民体育館 京阪守口市駅前
守口教室主催 参加費1000円
どちらも上靴をご用意ください

学べば真実と希望が見えてくる 知らないでは済まない戦後70年

11月13日と22日、日中友好ブツレットをテキストに女性部学習会を開催、延べ18名が参加しました。13日の第1回は、広大な土地と多民族国家の中国がアヘン戦争以来、日本と欧米列強から侵略され続けた歴史をのりこえ、改革経済以降めざましい経済発展を遂げているありのままの中国を学習しました。



(真実)チェック」をして北東アジアの過去500年は争いごとのないエリアで、日本がかかわった戦争の殆どが侵略戦争で、憲法9条のもとでの70年は、日本が仕掛けた戦争は無かった。北東アジアの仲間は平和フォーラムで憲法9条を研究・討論し、日本が戦争を放棄したことが、中国の改革開放を推進できた要因だと講演されました。

古くからのすぐれた技術・発明や漢字、お茶、陶磁器などの文化が伝わり、日本が中国から多くを学んできたことや、経済発展の裏にある公害問題や格差、自然エネルギー政策、日中両国

不再戦平和や百科検定など討議 理事会

11月11日、府連理事会在22名参加して開催され、府連大会から4カ月の活動や仲間増やし、百科検定の取り組みなどを討議しました。

日中不再戦平和の活動では長谷川テル墓参の旅や、南京の記憶をつなぐ映画祭、塚支部の旧日本軍毒ガス遺棄問題などについて報告されました。中国語講座は依然微減傾向が続き、実際の授業



見学制度を活用して新規受講生の紹介を呼びかけています。太極拳講座は後継者育成と受講生のレベルアップをめざし、中国武術段級位審査を9日に実施、武術の原則にのった攻防講座の連続開催は全国から注目されています。城北支部準備会は2月に支部結成を目指しています。

第5回百科検定

12月9日吹田市大和大学で、第5回百科検定試験が行われました。初級から特級まで20名が熱心に問題と取り組み、懇談会にも参加された受験生が、「対策講座やセミナーを発売に開いてほしい」「前回はテキストに載っていない問題が出た」と要望や意見がありました。

